



# 對話型鑑賞 in English

*What do you see?*

31st January, 2024

“ No great artist ever sees things as they really are.  
If he did, he would cease to be an artist. ”

— Oscar Wilde

偉大な芸術家は物事を見るがままには決して見ない。  
もしそうしたのなら芸術家ではなくなっているのだ。

— オスカー・ワイルド



## What is Art Thinking?

青翔開智の探究: デザイン・シンキング(デザイン思考)。

外に目を向け、課題を見出し解決法を模索する手法。

今回は**アート・シンキング(アート思考)にチャレンジ**。

目を向けるのは自分の内側。

**アート作品を鑑賞すること、アート作品について周りとは対話すること**で、答えのない問題に対して自分なりの正解を見つけ出そう。

*What you should do.*

アート作品を一人一つ選び英語で発表する

- ▶その絵を自分はどう解釈したのか
- ▶他者と対話することでどう考えが深まったのか

「共成と飛躍」で培った対話する力を発揮してください

対話型鑑賞  
の  
練習をしよう



**博物館側資料  
著作権保護のため削除**

**博物館側資料  
著作権保護のため削除**

個人情報保護のため削除



# Schedule

対話型アート鑑賞  
をしてみよう

新たな作品を見て  
対話型アート鑑賞を  
してみよう

英語で発表する  
準備をしよう

英語で  
発表しよう

1月31日  
県立博物館とのコラボ

2月1日  
Google Arts & Culture  
を使って対話型鑑賞  
(アート研修事前学習)  
\* アプリをダウンロードし  
よう

2月2日～6日  
見たこと・感じたことを  
英語で発表原稿にする

2月7日  
一人ひとり  
教室で発表  
(青開学会練習)





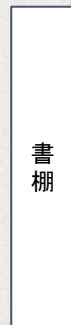
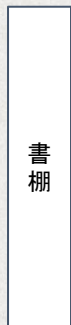
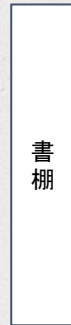
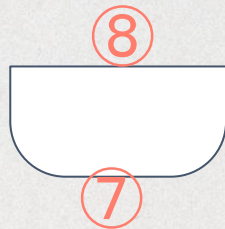
# 対話型鑑賞 in English

*What do you see?*

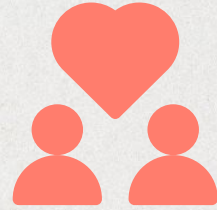
1st February, 2024

個人情報保護のため削除

プレゼン







**Pick 1 painting that **speaks to you.****

- \* 一つの絵を選べるのは最大5人
- \* 1~5の絵を選んだ人はA組へ
- \* 6~10の絵を選んだ人はB組へ





参考文献: Google Arts & Culture "DISCOVER Google ARTS & CULTURE | Google Arts & Culture" YouTube, uploaded by Google Arts & Culture, 2024年1月12日, <https://www.youtube.com/watch?v=bp4oa7MHg88&t=2s>



## STEP 0

絵を「見る」



## STEP 1

絵を  
「さらに観察し解釈」する  
＝自分と対話する



## STEP 2

見えたものや  
解釈について  
「対話」する  
＝他者と対話する



# STEP 0

What did you think about the painting at first?

Why did the painting speak to you?

最初その絵を見てどう思いましたか。

なぜ他の絵ではなく、その絵があなたに語りかけてきたのでしょうか。



絵を「見る」

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
---

# STEP 1

What is happening in the painting?

その絵の中では一体何が起きているのですか。



「さらに観察して解釈」する

絵の中で何が起きている？	それはどこからそう感じた？ 何が描かれているから？どう描かれているから？



## Rubric

タグ	観点 (到達目標)	A	B	C
7	多角的・客観的な視点を持ち自らの判断を内省することができる	自分なりに絵の解釈ができ、どこを見てその意見を持ったのか説明できる。かつ、他者や絵画との対話を経た上でどう自分の意見を深めたか説明できる。	自分なりに絵の解釈ができ、どこを見てその意見を持ったのかその理由を説明できる。しかし、他者との対話でどう自分の意見を深めたのかは説明できていない。	自分なりの意見を持つことはできるが、どこを見てその意見を持ったかその理由は説明していない。
16	成果物を使って共感を得る発表をすることができる	適度に発表原稿から目線を上げ、身振り手振りを加えながら発表している。	発表原稿にしばしば目線を落とし、身振り手振りも不自然である。	発表原稿を終始読んでいるだけである。身振り手振りは多少ある、あるいは全くない。

今回の最大の目標:

答えのない問題に対して**自分なりの正解**を見つけようとする。

そのために**しっかり絵を鑑賞して対話しよう**

## STEP 2

Share your idea with classmates.

After that, review your script.

クラスメイトとシェアしよう。新しい視点は得られましたか。



「対話」する

\_\_\_\_\_ 's idea:

聞いてどう思った？自分の見方は何か変わった？

---

---

---

# Schedule

練習

対話型  
アート鑑賞

英語で発表する準備をしよう

英語で  
発表しよう

1月31日  
県立博物館との  
コラボ

2月1日  
Google Arts & Culture  
を使って対話型鑑賞  
(アート研修事前学習)

2月2日と5日  
発表原稿(英文)を  
完成させる

2月6日  
発表練習をする

2月7日  
一人ひとり  
教室で発表  
(青開学会練習)





冊子回収





# 對話型鑑賞 in English

*What do you see?*

2nd - 5th February, 2024

# Schedule

練習

対話型  
アート鑑賞

英語で発表する準備をしよう

英語で  
発表しよう

1月31日  
県立博物館との  
コラボ

2月1日  
Google Arts & Culture  
を使って対話型鑑賞  
(アート研修事前学習)

2月2日と5日  
発表原稿(英文)を  
完成させる

2月6日  
発表練習をする

2月7日  
一人ひとり  
教室で発表  
(青開学会練習)



## STEP 3

Write a script for your presentation.

Use Japanese to write it.

自分が絵に対して持った考えについての台本を作りましょう。

自分の考えについて話すときは

それが「どこをみてそう思った」かわかるように。

時間短縮のため、日本語で書いてDeep Lで英語翻訳します。

\*「自分は最初から英語で出来ます！」という人は相談してください。

\* 便利な表現集を冊子6ページに載せています。



台本作成



## Sample Script



描かれていること (description)  
自分の解釈 (interpretation)

“鮮やかな青色と少し薄汚れた黄色のコントラストが私の目を惹きました。一見すると、暖かい陽の当たる部屋の中で陶器の壺から牛乳を注ぎながら朝食の準備をする、中世の時代の女性を日常を描いた絵に見えます。机の上にはパンも見えるので、食べ物にも困っていない、戦争も何もない平和な時代に思えました。

しかし友人が「女性の後ろに描かれている床には木箱のようなものが放置されている。背景に描かれている壁もボロボロに見える。彼女の家は実際には貧しく、苦しい日々を送っているのではないか」と言っていました。確かに、最初太陽の光が当たる明るい絵かと思っていましたが、その光のせいで彼女の顔には影がかかり、顔の印象を暗くしていると気が付きました。実際にはこの絵は中世の時代の女性の苦悩、もしかしたら家庭に縛られて自由のない女性の苦しみを描いているのかもしれませんが。

## Rubric

タグ	観点 (到達目標)	A	B	C
7	多角的・客観的な視点を持ち自らの判断を内省することができる	自分なりに絵の解釈ができ、どこを見てその意見を持ったのか説明できる。かつ、他者や絵画との対話を経た上でどう自分の意見を深めたか説明できる。	自分なりに絵の解釈ができ、どこを見てその意見を持ったのかその理由を説明できる。しかし、他者との対話でどう自分の意見を深めたのかは説明できていない。	自分なりの意見を持つことはできるが、どこを見てその意見を持ったかその理由は説明していない。
16	成果物を使って共感を得る発表をすることができる	適度に発表原稿から目線を上げ、身振り手振りを加えながら発表している。	発表原稿にしばしば目線を落とし、身振り手振りも不自然である。	発表原稿を終始読んでいるだけである。身振り手振りは多少ある、あるいは全くない。

タグ7のルーブリックをよく見て自分の日本文が評価Aになるのか確認



## Sample Script



描かれていること (description)  
自分の解釈 (interpretation)

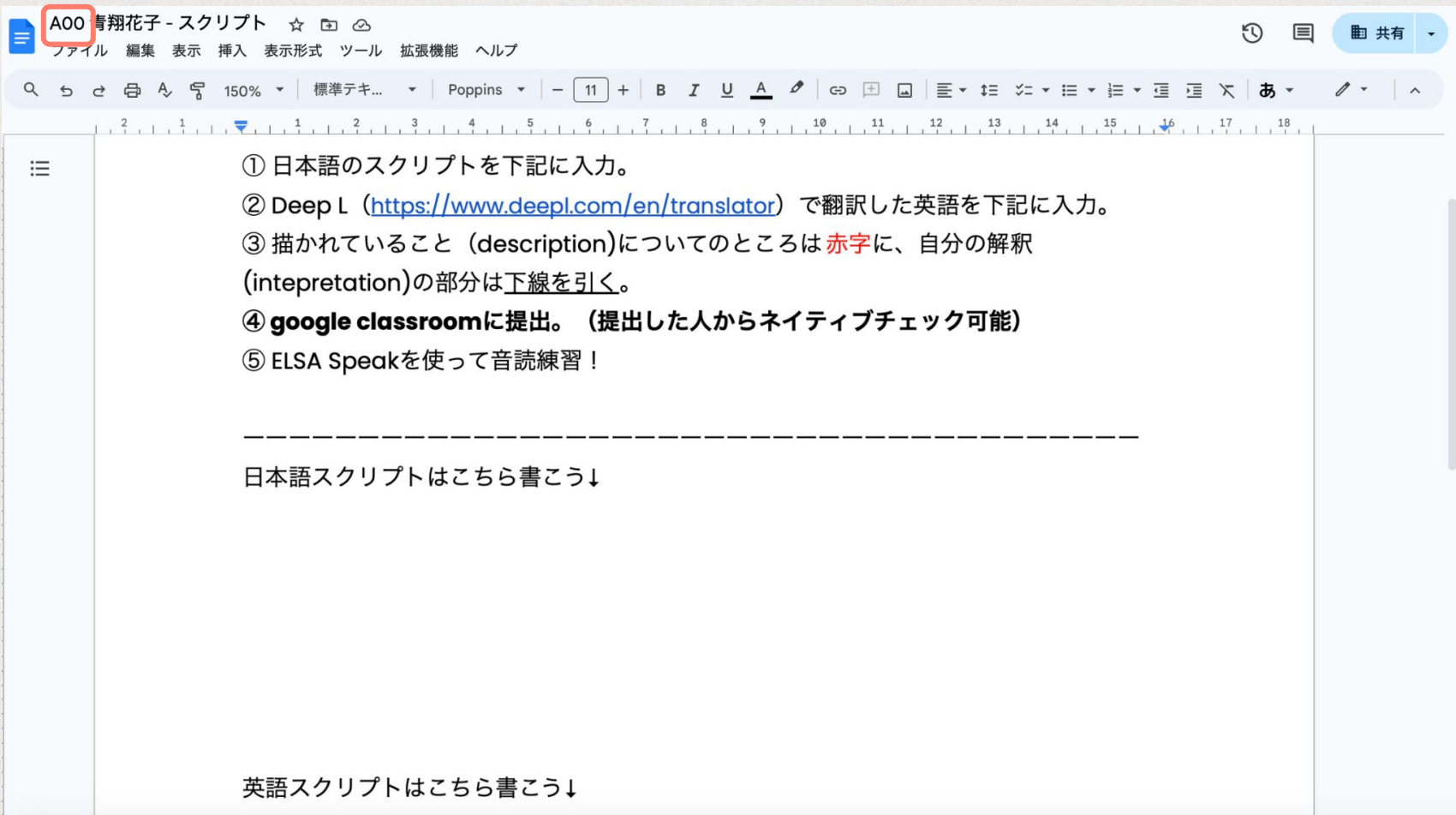
“ The contrast between the bright blue and the slightly dull yellow caught my eye. At first glance, the painting appears to depict a woman from the medieval period in her daily life, preparing breakfast while **pouring milk from a ceramic jug in a warm, sunny room**. I can also see **bread on the table**, so it seems to be a peaceful time, with no shortage of food, no wars or anything like that.

However, my friend said, “**There is something like a wooden box left on the floor depicted behind the woman. The wall painted in the background also looks battered**. Her house must actually be poor and suffering.” Indeed, at first I thought the painting was brightly lit by the sun, but then I realized that the light cast a shadow on her face, darkening the impression of her face. In fact, this painting may be depicting the suffering of a woman in the medieval period, perhaps a woman who is tied to her family and has no freedom.

”



## クラス・出席番号を A01 の形で入力する(A組1番の場合)



The screenshot shows a Google Docs interface. The title bar reads 'A00 青翔花子 - スクリプト'. The document content consists of five numbered instructions in Japanese, followed by a dashed line and two lines of text. The first instruction is circled in red in the original image.

- ① 日本語のスクリプトを下記に入力。
- ② Deep L (<https://www.deepl.com/en/translator>) で翻訳した英語を下記に入力。
- ③ 描かれていること (description) についてのところは赤字に、自分の解釈 (intepretation) の部分は下線を引く。
- ④ **google classroom**に提出。(提出した人からネイティブチェック可能)
- ⑤ ELSA Speakを使って音読練習!

---

日本語スクリプトはこちら書こう↓

英語スクリプトはこちら書こう↓



冊子回收



# 対話型鑑賞 in English

*What do you see?*

6th February, 2024





# Schedule

練習

対話型  
アート鑑賞

英語で発表する準備をしよう

英語で  
発表しよう

1月31日  
県立博物館との  
コラボ

2月1日  
Google Arts & Culture  
を使って対話型鑑賞  
(アート研修事前学習)

2月2日と5日  
発表原稿(英文)を  
完成させる

2月6日  
発表練習をする

2月7日  
一人ひとり  
教室で発表  
(青開学会練習)

## Rubric

タグ	観点 (到達目標)	A	B	C
7	多角的・客観的な視点を持ち自らの判断を内省することができる	自分なりに絵の解釈ができ、どこを見てその意見を持ったのか説明できる。かつ、他者や絵画との対話を経た上でどう自分の意見を深めたか説明できる。	自分なりに絵の解釈ができ、どこを見てその意見を持ったのかその理由を説明できる。しかし、他者との対話でどう自分の意見を深めたのかは説明できていない。	自分なりの意見を持つことはできるが、どこを見てその意見を持ったかその理由は説明していない。
16	成果物を使って共感を得る発表をすることができる	適度に発表原稿から目線を上げ、身振り手振りを加えながら発表している。	発表原稿にしばしば目線を落とし、身振り手振りも不自然である。	発表原稿を終始読んでいるだけである。身振り手振りは多少ある、あるいは全くない。

青開学会ではなるべくiPadから目線をあげましょう

「原稿そっくり」に言うよりも**自分の言葉で伝えようとしている姿**の方が人の心には響きます(かといって言葉に詰まりすぎるのもいただけません)

今回の発表はその事前練習でもあります



✓「描かれていること」

「自分の解釈」が

それぞれどこか確認

✓単語の発音

意味の切れ目を確認

✓自分の台本を分析

✓相手に伝わる発表を意識

とにかく読み練習

“

The contrast between the bright blue and the slightly dull yellow caught my eye. At first glance, the painting appears to depict a woman from the medieval period in her daily life, preparing breakfast while **pouring milk from a ceramic jug in a warm, sunny room**. I can also see **bread on the table**, so it seems to be a peaceful time, with no shortage of food, no wars or anything like that.

However, my friend said, "**There is something like a wooden box left on the floor depicted behind the woman. The wall painted in the background also looks battered**." Her house must actually be poor and suffering." Indeed, at first I thought the painting was brightly lit by the sun, but then I realized that the light cast a shadow on her face, darkening the impression of her face. In fact, this painting may be depicting the suffering of a woman in the medieval period, perhaps a woman who is tied to her family and has no freedom.

”





1. ELSA Speakを立ち上げ「発見する」を選択
2. 「単語帳」を選択

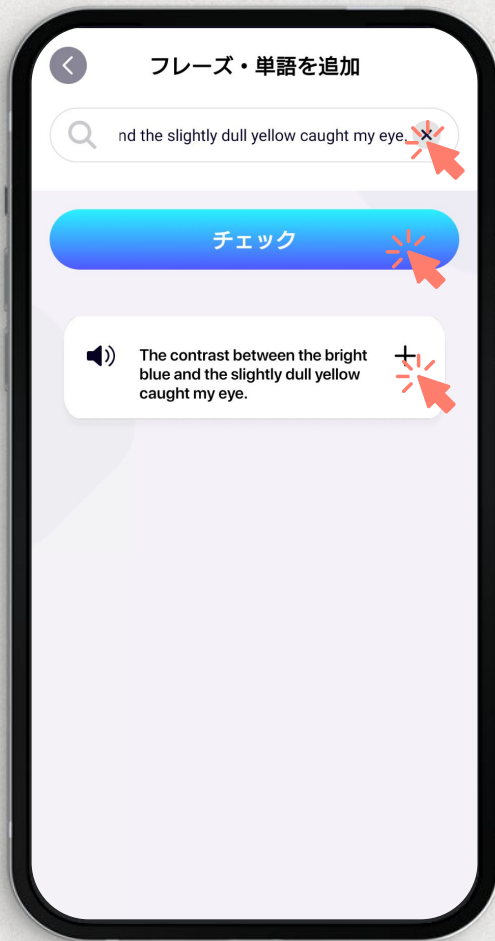


1. ELSA Speakを立ち上げ「発見する」を選択
2. 「単語帳」を選択
3. 画面右下の+ボタンをクリック

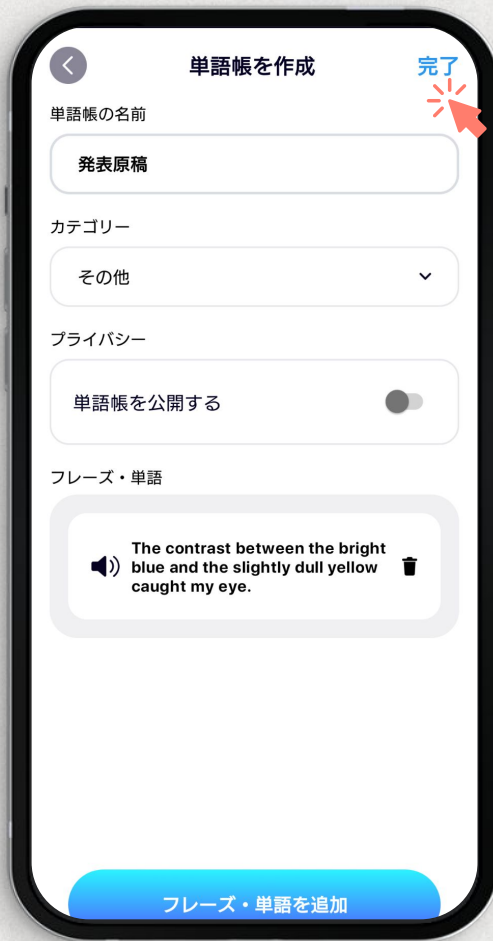


1. ELSA Speakを立ち上げ「発見する」を選択
2. 「単語帳」を選択
3. 画面右下の+ボタンをクリック
4. 「単語帳の名前」を登録し  
カテゴリーを設定し  
「単語帳を公開する」をoffにする  
「フレーズ・単語を追加」をクリック





1. ELSA Speakを立ち上げ「発見する」を選択
2. 「単語帳」を選択
3. 画面右下の+ボタンをクリック
4. 「単語帳の名前」を登録し  
カテゴリーを設定し  
「単語帳を公開する」をoffにする  
「フレーズ・単語を追加」をクリック
5. 発表原稿を文ごとにコピー  
「チェック」をクリック  
表示された文の+ボタンをクリック



1. ELSA Speakを立ち上げ「発見する」を選択
2. 「単語帳」を選択
3. 画面右下の+ボタンをクリック
4. 「単語帳の名前」を登録し  
カテゴリーを設定し  
「単語帳を公開する」をoffにする  
「フレーズ・単語を追加」をクリック
5. 発表原稿を文ごとにコピー  
「チェック」をクリック  
表示された文の+ボタンをクリック
6. 「完了」をクリック





1. ELSA Speakを立ち上げ「発見する」を選択
2. 「単語帳」を選択
3. 画面右下の+ボタンをクリック
4. 「単語帳の名前」を登録し  
カテゴリーを設定し  
「単語帳を公開する」をoffにする  
「フレーズ・単語を追加」をクリック
5. 発表原稿を文ごとにコピー  
「チェック」をクリック  
表示された文の+ボタンをクリック
6. 「完了」をクリック
7. 単語帳画面の右上をクリックすると  
登録した英文を練習できる







1. ELSA Speakを立ち上げ「発見する」を選択
2. 「単語帳」を選択
3. 画面右下の+ボタンをクリック
4. 「単語帳の名前」を登録し  
カテゴリーを設定し  
「単語帳を公開する」をoffにする  
「フレーズ・単語を追加」をクリック
5. 发表原稿を文ごとにコピー  
「チェック」をクリック  
表示された文の+ボタンをクリック
6. 「完了」をクリック
7. 単語帳画面の右上をクリックすると  
登録した英文を練習できる
8. 「この単語帳を練習する」をクリック



1. ELSA Speakを立ち上げ「発見する」を選択
2. 「単語帳」を選択
3. 画面右下の+ボタンをクリック
4. 「単語帳の名前」を登録し  
カテゴリーを設定し  
「単語帳を公開する」をoffにする  
「フレーズ・単語を追加」をクリック
5. 発表原稿を文ごとにコピー  
「チェック」をクリック  
表示された文の+ボタンをクリック
6. 「完了」をクリック
7. 単語帳画面の右上をクリックすると  
登録した英文を練習できる
8. 「この単語帳を練習する」をクリック
9. 自動で見本が流れる→繰り返しは   
自分で吹き込む時は 



1. ELSA Speakを立ち上げ「発見する」を選択
2. 「単語帳」を選択
3. 画面右下の+ボタンをクリック
4. 「単語帳の名前」を登録し  
カテゴリーを設定し  
「単語帳を公開する」をoffにする  
「フレーズ・単語を追加」をクリック
5. 発表原稿を文ごとにコピー  
「チェック」をクリック  
表示された文の+ボタンをクリック
6. 「完了」をクリック
7. 単語帳画面の右上をクリックすると  
登録した英文を練習できる
8. 「この単語帳を練習する」をクリック
9. 自動で見本が流れる→繰り返しは   
自分で吹き込む時は 
10. 黄色・赤が注意すべきところ  
目指せ！50-60%！！





冊子回收



# 對話型鑑賞 in English

*What do you see?*

7th February, 2024



*Let's make a speech!*



読み練習をしよう(30分)



発表本番

- 聞いている人は他者評価(コメント不要)



個人情報保護のため削除

# What is Art Thinking?

## デザイン思考: ! を作る

観察的手法を使ってユーザーを理解し

プロトタイプを使って試行錯誤を行う創造的な問題解決の手法

## アート思考: ? を作る

新しい価値を生み出すために、アートを創るように、芸術家のように考える

独自の発想ができることがメリット

今回は**アート**と**対話**を通じて自分について深掘りしました。

アート研修では「これが正しいアートの見方」と思い込まず

心を自由に自分と対話して来てください。

# 冊子回収

あと1回だけ  
探究スキルラーニング続きます





# 對話型鑑賞 in English

*What do you see?*

7th February, 2024

## What we do today...



アートに関する英文を読もう

Cambridge Experienceの110-111ページを  
読んでみよう



アート作品について調べよう

大塚国際美術館で何の作品を見たいかな？



# ～探究スキルラーニングを終わって～

1 自分が選んだ作品の**作者について調べよう。**

例)どんな時代に生きた人？誰かの影響を受けている？あるいは何かに影響を与えた？代表作は？

2 自分が選んだ**作品について調べよう。**

例)どんな解釈がなされている？自分の解釈とは違う？その違いは何から生まれたのだろうか？

3 大塚国際美術館で**見たい作品を3つピックアップしよう。**

展示場所や展示室番号はgoogle classroomの“Art Tour TSL”にある「フロアマップ」と「展示作品リスト」を参考にしよう。





冊子回収